様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	美術考古館学習事業	コード	111112

2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（美術考古館）	作成者	戸谷田剛秀

3 事業概要				
目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
	政　策	文化・スポーツの振興	施　策	文化・芸術の振興
	予算科目	学習事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	博物館法第３条９		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		子どもから大人まで幅広い年齢層が、気軽に芸術と歴史や考古に触れ、学習の成果を発表することで、生涯学習を推進する。
目的	対象者	市民及び来館者
	意　図	より多くの人が美術、考古を楽しく体験学習し、美術考古館に対する興味を深める。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・来館者等を対象としたワークショップ、ギャラリートークなどのイベントを開催
・勾玉づくり 4月16日（ 21人）・アイロンビーズでキーホルダーとマグネットを作ろう（午前２回） 5月21日（ 34人）・ガラスの花瓶にイラストや模様を描いてみよう 5月26日（ 10人）・布にクレヨンでスペシャルプレゼントをつくろう（午前２回） 6月11日（ 19人）・太鼓を作ろう 6月14日（ 10人）・七夕モビール＆飾りを作ろう 6月18日（ 18人）・考古・美術ギャラリートーク（長地編） 6月21日（ 17人）・考古・美術ギャラリートーク（川岸編） 6月28日（ 18人）・考古・美術ギャラリートーク（湊編） 7月5日（ 18人）・空気砲＆紙万華鏡を作ろう 7月16日（ 29人）・陶器の風鈴に好きな絵や模様を描こう 7月21日（ 4人）・きつね祭り　オリジナルブレスレットを作ろう 7月30日（ 56人）・軽トラ市　火おこし体験 8月7日（ 28人）・軽トラ市　空気砲を作ろう 8月7日（ 23人）・オリジナルうちわを作ろう 8月14日（ 23人）・ハロウィンかぼちゃの起き上りこぼしを作ろう 9月1日（ 10人）・おじいちゃん・おばあちゃんに手作りフレームをプレゼントしよう 9月10日（ 16人）・新聞紙でかぼちゃをつくっちゃおう 10月1日（ 10人）・美術考古館のTRICK OR TREAT 10月30日（ 28人）・タイルアートに挑戦しよう 11月19日（ 18人）・楽しの森　ブレスレットをつくろう 11月27日（ 17人）・ランプシェードをつくろう 12月6日（ 15人）・クリスマス飾りをつくろう 12月10日（ 20人）・川岸小とちっ子ひろば「高学年クラフト教室」 12月12日（ 15人）・ランプシェードをつくろう 12月17日（ 37人）・こまとけん玉をつくろう 1月14日（ 17人）・オリジナルせっけんをつくろう 1月19日（ 8人）・ねんどで手形をつくろう 1月26日（ 16人）・起き上りだるまをつくろう 2月9日（ 4人）・繭から花束をつくろう 2月12日（ 19人）・だるまをつくろう（上の原小） 2月17日（ 5人）・素敵なフォトフレームをつくろう 2月24日（ 6人）・素敵なフォトフレームをつくろう 2月25日（ 18人）・ワークショップ祭り 3月18日（ 50人）・ワークショップ祭り 3月19日（ 80人）

前年度の課題への対応	職員間でも連携や自己研鑽に取り組み更なる、魅力あるワークショップやギャラリートークなど様々なイベントに取り組んだ。多くの市民や来館者に体験や学習する場を提供した。また、学校や他施設など出張も行なった。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	開催日数			単位 日
実績値	61	26	35	
＊指標の説明	ワークショップ等の開催日数			
② 成果指標（指標名）	参加者数			単位 人
目標値	250	250	340	340
実績値	1,455	664	737	
達成度	582.0%	265.6%	216.8%	
＊指標の説明	ワークショップ等の参加者数			
＊目標値の設定方法の説明	予算			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	129,447	169,840	228,911	154,000
経常経費	129,447	109,840	184,591	119,000
臨時的経費		60,000	44,320	35,000
＊臨時的経費の説明	H29　彫刻クリーニングによる経費			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		1,040,000	1,040,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数（人）		0.13	0.13	0.20	0.20
③ 合計コスト（①＋②）		1,169,447	1,209,840	1,828,911	1,754,000
前年度比			103.5%	151.2%	95.9%
財源内訳	一般財源	1,106,850	1,146,250	1,710,911	1,632,000
	特定財源	62,597	63,590	118,000	122,000
＊特定財源の説明		ワークショップ等実費徴収金			
④ 活動一単位あたりコスト		19,171	44,225	50,988	
前年度比			230.7%	115.3%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　111.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　216.8%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 初めての人から常連まで、楽しめるような、ワークショップやギャラリートークなど、さらにより魅力ある企画や学習内容の充実を図る必要がある。また、周知も必要。 学校との連携をさらに深め、見学や交流ひろばの活用を図りながら学習事業の成果を図っていくことが必要である。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 周辺文化施設や他部署との連携による共催事業の実施に努める。 学校や地区に積極的に出向き、出前講座的な学習事業に取り組む。	
	改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B